

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)さいたま市大宮区吉敷町2丁目	階数	地上14F
建設地	さいたま市大宮区吉敷町二丁目132	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	264 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年4月17日
敷地面積	1,466 m ²	作成者	川口土木建築工業株式会社 一級建築士事務所 嶋田真弘
建築面積	541 m ²	確認日	2018年4月17日
延床面積	5,651 m ²	確認者	川口土木建築工業株式会社 一級建築士事務所 山家幸浩



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
本建物は、大宮駅とさいたま新都心駅の間地点に計画された集合住宅である。多くの樹種を植栽した緑地を豊富に設け室外環境の保全に配慮した計画となっている。	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・ 住戸の開閉部の遮音等級はT-2等級とし、室内の音環境に配慮する。 ・ 全面的にF★★★★の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	・ 劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 ・ 耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。	・ 限られた敷地内に出来る限り緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。 ・ 多種多様な樹種を植栽し、生物資源の保全に配慮する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・ 適切な断熱を行い、建物外皮の熱負荷抑制に配慮する。 ・ 効率のよい潜熱回収型の給湯器を採用することで、省エネルギーに配慮する。	・ 節水器具を採用し、水資源の保護に配慮する。 ・ ノンフロン断熱材を採用し、フロンの回避に配慮する。	・ 限られた敷地内に出来る限り緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される